

2. 医薬品の薬効分類別生産状況

(1) 循環器官用薬

循環器官用薬の生産金額は1兆3,075億円であり、医薬品総生産金額の20.0%を占め、前年に比較して731億円（5.9%）の増加となっている。

内訳は第5表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、血圧降下剤で33.6%を占めており、血管拡張剤24.9%、高脂血症用剤23.2%、その他の循環器官用薬7.8%という順になっている。

第5表 循環器官用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	15年	14年	増減額	比	15年	14年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	1,307,463	1,234,320	73,143	5.9	100.0	100.0
強心剤	29,068	27,452	1,616	5.9	2.2	2.2
不整脈用剤	78,615	78,299	316	0.4	6.0	6.3
利尿剤	25,096	24,885	211	0.8	1.9	2.0
血圧降下剤	439,708	405,433	34,275	8.5	33.6	32.8
血管補強剤	88	98	-10	-10.2	-	-
血管収縮剤	5,319	7,670	-2,351	-30.6	0.4	0.6
血管拡張剤	325,340	315,521	9,819	3.1	24.9	25.6
高脂血症用剤	302,739	269,531	33,208	12.3	23.2	21.8
その他の循環器官用薬	101,491	105,431	-3,940	-3.7	7.8	8.5

(2) 中枢神経系用薬

中枢神経系用薬の生産金額は5,985億円で医薬品総生産金額の9.2%を占め、前年と比較して65億円（1.1%）の増加となっている。

内訳は第6表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、解熱鎮痛消炎剤で24.9%を占めており、精神神経用剤20.8%、総合感冒剤15.0%、その他の中枢神経系用薬14.3%という順になっている。

第6表 中枢神経系用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	15年	14年	増減額	比	15年	14年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	598,546	592,072	6,474	1.1	100.0	100.0
全身麻酔剤	9,604	16,160	-6,556	-40.6	1.6	2.7
催眠鎮静剤, 抗不安剤	81,173	75,982	5,191	6.8	13.6	12.8
抗てんかん剤	23,144	23,684	-540	-2.3	3.9	4.0
解熱鎮痛消炎剤	148,960	152,111	-3,151	-2.1	24.9	25.7
興奮剤, 覚せい剤	1,122	1,325	-203	-15.3	0.2	0.2
抗パーキンソン剤	34,298	34,674	-376	-1.1	5.7	5.9
精神神経用剤	124,576	104,350	20,226	19.4	20.8	17.6
総合感冒剤	90,048	98,533	-8,485	-8.6	15.0	16.6
その他の中枢神経系用薬	85,621	85,253	367	0.4	14.3	14.4

(3) その他の代謝性医薬品

その他の代謝性医薬品の生産金額は5,897億円で医薬品総生産金額の9.0%を占め、前年に比較して4億円(0.1%)の増加となっている。

内訳は第7表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、他に分類されない代謝性医薬品で58.4%を占めており、糖尿病用剤19.1%、総合代謝性製剤9.7%、痛風治療剤4.2%という順になっている。

第7表 その他の代謝性医薬品の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	15年	14年	増減額	比	15年	14年
総数	百万円 589,711	百万円 589,341	百万円 369	% 0.1	% 100.0	% 100.0
肝臓疾患用剤	13,368	14,483	-1,115	-7.7	2.3	2.5
解毒剤	13,167	11,256	1,911	17.0	2.2	1.9
習慣性中毒用剤	122	125	-3	-2.7	-	-
痛風治療剤	24,815	25,760	-945	-3.7	4.2	4.4
酵素製剤	23,869	25,328	-1,459	-5.8	4.0	4.3
糖尿病用剤	112,511	107,336	5,176	4.8	19.1	18.2
総合代謝性製剤	57,219	65,931	-8,712	-13.2	9.7	11.2
他に分類されない代謝性医薬品	344,641	339,123	5,517	1.6	58.4	57.5

(4) 消化器官用薬

消化器官用薬の生産金額は5,625億円、医薬品総生産金額の8.6%を占め、前年に比較して67億円(1.2%)の増加となっている。

内訳は第8表のとおりである。このうち最も生産金額の大きいものは、消化性潰瘍用剤で60.3%を占めており、その他の消化器官用薬13.0%、下剤、浣腸剤7.5%、複合胃腸剤5.3%という順になっている。

第8表 消化器官用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	15年	14年	増減額	比	15年	14年
総数	百万円 562,540	百万円 555,792	百万円 6,748	% 1.2	% 100.0	% 100.0
止しゃ剤、整腸剤	26,792	27,681	-889	-3.2	4.8	5.0
消化性潰瘍用剤	339,448	337,995	1,453	0.4	60.3	60.8
健胃消化剤	16,169	19,771	-3,602	-18.2	2.9	3.6
制酸剤	16,841	17,651	-810	-4.6	3.0	3.2
下剤、浣腸剤	42,078	37,023	5,055	13.7	7.5	6.7
利胆剤	18,152	16,371	1,781	10.9	3.2	2.9
複合胃腸剤	30,061	32,243	-2,182	-6.8	5.3	5.8
その他の消化器官用薬	73,000	67,057	5,943	8.9	13.0	12.1

(5) 抗生物質製剤

抗生物質製剤の生産金額は3,869億円で医薬品総生産金額の5.9%を占め、前年に比較して172億円(4.6%)の増加となっている。

内訳は第9表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生物質製剤で70.7%を占めている。主としてグラム陽性菌・マイコプラズマに作用する抗生物質製剤が17.8%を占めており、これら上位2分類で88.5%を占めている。

第9表 抗生物質製剤の生産金額

薬 効 中 分 類	生 産 金 額		対 前 年 増 減		構 成 割 合	
	15 年	14 年	増 減 額	比	15 年	14 年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総 数	386,923	369,764	17,159	4.6	100.0	100.0
主としてグラム陽性菌に作用する抗生物質製剤	16,658	9,527	7,132	74.9	4.3	2.6
主としてグラム陰性菌に作用する抗生物質製剤	6,648	7,620	-972	-12.8	1.7	2.1
主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生物質製剤	273,448	285,186	-11,737	-4.1	70.7	77.1
主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用する抗生物質製剤	68,996	56,644	12,352	21.8	17.8	15.3
主としてグラム陽性・陰性菌、リケッチア、クラミジアに作用する抗生物質製剤	3,868	4,015	-147	-3.7	1.0	1.1
主として抗酸菌に作用する抗生物質製剤	1,553	1,663	-110	-6.6	0.4	0.4
主としてカビに作用する抗生物質製剤	13,052	3,853	9,199	238.8	3.4	1.0
その他の抗生物質製剤（複合抗生物質製剤を含む。）	2,699	1,257	1,441	114.6	0.7	0.3

(6) 外皮用薬

外皮用薬の生産金額は3,495億円で医薬品総生産金額の5.4%を占め、前年に比較して113億円(3.1%)の減少となっている。

内訳は第10表のとおりである。このうち最も生産金額の大きいものは、鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤で58.7%を占めており、外皮用殺菌消毒剤13.3%、寄生性皮膚疾患用剤10.0%、その他の外皮用薬4.9%という順になっている。

第10表 外皮用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	15年	14年	増減額	比	15年	14年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	349,539	360,797	-11,258	-3.1	100.0	100.0
外皮用殺菌消毒剤	46,369	45,815	554	1.2	13.3	12.7
創傷保護剤	5,351	5,481	-130	-2.4	1.5	1.5
化膿性疾患用剤	9,327	10,319	-993	-9.6	2.7	2.9
鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	205,204	218,773	-13,569	-6.2	58.7	60.6
寄生性皮膚疾患用剤	34,999	32,005	2,995	9.4	10.0	8.9
皮膚軟化剤(腐しよく剤を含む。)	14,896	12,339	2,557	20.7	4.3	3.4
毛髪用剤(発毛剤, 脱毛剤, 染毛剤, 養毛剤)	16,044	20,850	-4,805	-23.0	4.6	5.8
浴剤	227	279	-52	-18.6	0.1	0.1
その他の外皮用薬	17,121	14,935	2,186	14.6	4.9	4.1

(7) 血液・体液用薬

血液・体液用薬の生産金額は3,120億円で医薬品総生産金額の4.8%を占め、前年に比較して163億円(5.5%)の増加となっている。

内訳は第11表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、その他の血液・体液用薬で63.7%を占めており、血液代用剤22.1%、血液凝固阻止剤10.2%、止血剤4.0%の順になっている。

第11表 血液・体液用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	15年	14年	増減額	比	15年	14年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	312,040	295,740	16,299	5.5	100.0	100.0
血液代用剤	69,007	68,517	489	0.7	22.1	23.2
止血剤	12,380	11,827	554	4.7	4.0	4.0
血液凝固阻止剤	31,947	25,114	6,833	27.2	10.2	8.5
その他の血液・体液用薬	198,706	190,282	8,424	4.4	63.7	64.3

(8) アレルギー用薬

アレルギー用薬の生産金額は2,488億円で医薬品総生産金額の3.8%を占め、前年に比較して285億円(12.9%)の増加となっている。

内訳は第12表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、その他のアレルギー用薬で92.0%を占めており、抗ヒスタミン剤4.9%、刺激療法剤3.0%という順になっている。

第12表 アレルギー用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	15年	14年	増減額	比	15年	14年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	248,823	220,340	28,483	12.9	100.0	100.0
抗ヒスタミン剤	12,287	10,223	2,065	20.2	4.9	4.6
刺激療法剤	7,526	8,615	-1,089	-12.6	3.0	3.9
非特異性免疫原製剤	-	-	-	-	-	-
その他のアレルギー用薬	229,009	201,503	27,507	13.7	92.0	91.5

(9) 生物学的製剤

生物学的製剤の生産金額は2,372億円で医薬品総生産金額の3.6%を占め、前年に比較して175億円(6.9%)の減少となっている。

内訳は第13表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、血液製剤類で68.5%を占めており、その他の生物学的製剤16.0%、ワクチン類14.0%という順になっている。

第13表 生物学的製剤の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	15年	14年	増減額	比	15年	14年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	237,198	254,679	-17,481	-6.9	100.0	100.0
ワクチン類	33,164	31,496	1,669	5.3	14.0	12.4
毒素及びトキソイド類	497	441	56	12.7	0.2	0.2
抗毒素類及び抗レプトスピラ血清類	51	78	-27	-34.4	-	-
血液製剤類	162,586	176,035	-13,449	-7.6	68.5	69.1
生物学的試験用製剤類	-	-	-	-	-	-
混合生物学的製剤	2,971	3,019	-48	-1.6	1.3	1.2
その他の生物学的製剤	37,929	43,611	-5,682	-13.0	16.0	17.1

(10) 感覚器官用薬

感覚器官用薬の生産金額は2,265億円で医薬品総生産金額の3.5%を占め、前年に比較して124億円(5.8%)の増加となっている。

内訳は第14表のとおりある。このうち最も生産金額が大きいものは、眼科用剤で80.2%を占めており、耳鼻科用剤15.2%、鎮量剤4.7%という順になっている。

第14表 感覚器官用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	15年	14年	増減額	比	15年	14年
総数	百万円 226,497	百万円 214,123	百万円 12,374	% 5.8	% 100.0	% 100.0
眼科用剤	181,545	170,233	11,312	6.6	80.2	79.5
耳鼻科用剤	34,317	33,184	1,132	3.4	15.2	15.5
鎮量剤	10,574	10,622	-48	-0.4	4.7	5.0
その他の感覚器官用薬	61	83	-22	-26.9	-	-

(11) ビタミン剤

ビタミン剤の生産金額は2,196億円で医薬品総生産金額の3.4%を占め、前年に比較して102億円(4.4%)の減少となっている。

内訳は第15表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、混合ビタミン剤(ビタミンA・D混合製剤を除く。)で27.3%を占めており、ビタミンB剤(ビタミンB₁剤を除く。)25.4%、ビタミンA及びD剤23.4%という順になっている。

第15表 ビタミン剤の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	15年	14年	増減額	比	15年	14年
総数	百万円 219,555	百万円 229,776	百万円 -10,221	% -4.4	% 100.0	% 100.0
ビタミンA及びD剤	51,283	56,409	-5,126	-9.1	23.4	24.5
ビタミンB ₁ 剤	13,097	12,907	190	1.5	6.0	5.6
ビタミンB剤(ビタミンB ₁ 剤を除く。)	55,785	58,498	-2,713	-4.6	25.4	25.5
ビタミンC剤	7,534	5,841	1,692	29.0	3.4	2.5
ビタミンE剤	9,397	9,054	343	3.8	4.3	3.9
ビタミンK剤	12,340	12,450	-111	-0.9	5.6	5.4
混合ビタミン剤(ビタミンA・D混合製剤を除く。)	60,021	61,954	-1,933	-3.1	27.3	27.0
その他のビタミン剤	10,099	12,662	-2,563	-20.2	4.6	5.5

(12) 化学療法剤

化学療法剤の生産金額は1,941億円で医薬品総生産金額の3.0%を占めており、前年に比較して74億円(4.0%)の増加となっている。

内訳は第16表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、合成抗菌剤で39.4%を占めており、その他の化学療法剤38.7%、抗ウイルス剤21.2%という順になっている。

第16表 化学療法剤の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	15年	14年	増減額	比	15年	14年
総数	194,071	186,637	7,434	4.0	100.0	100.0
サルファ剤	137	117	20	17.1	0.1	0.1
抗結核剤	1,210	1,319	-109	-8.2	0.6	0.7
抗ハンセン病剤	57	8	48	598.6	-	-
合成抗菌剤	76,533	74,653	1,881	2.5	39.4	40.0
抗ウイルス剤	41,119	38,291	2,828	7.4	21.2	20.5
その他の化学療法剤	75,015	72,250	2,766	3.8	38.7	38.7

(13) 体外診断用医薬品

体外診断用医薬品の生産金額は1,728億円で医薬品総生産金額の2.6%を占め、前年に比較して51億円(2.9%)の減少となっている。

内訳は第17表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、生化学的検査用試薬で48.3%を占めており、免疫血清学的検査用試薬41.5%、一般検査用試薬6.2%という順になっている。

第17表 体外診断用医薬品の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	15年	14年	増減額	比	15年	14年
総数	172,786	177,933	-5,148	-2.9	100.0	100.0
一般検査用試薬	10,692	9,574	1,119	11.7	6.2	5.4
血液検査用試薬	4,081	4,308	-227	-5.3	2.4	2.4
生化学的検査用試薬	83,380	87,819	-4,438	-5.1	48.3	49.4
免疫血清学的検査用試薬	71,771	73,139	-1,368	-1.9	41.5	41.1
細菌学的検査用薬	2,810	3,052	-242	-7.9	1.6	1.7
病理組織検査用薬	51	42	9	21.0	-	-

(14) 滋養強壯薬

滋養強壯薬の生産金額は1,644億円で医薬品総生産金額の2.5%を占め、前年に比較して176億円(9.7%)の減少となっている。

内訳は第18表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、たん白アミノ酸製剤で45.1%を占めており、その他の滋養強壯薬38.0%、無機質製剤7.2%、糖類剤4.8%という順になっている。

第18表 滋養強壯薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	15年	14年	増減額	比	15年	14年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	164,445	182,027	-17,582	-9.7	100.0	100.0
カルシウム剤	5,526	5,766	-240	-4.2	3.4	3.2
無機質製剤	11,804	11,555	249	2.2	7.2	6.3
糖類剤	7,870	8,068	-199	-2.5	4.8	4.4
有機酸製剤	-	-	-	-	-	-
たん白アミノ酸製剤	74,164	87,681	-13,517	-15.4	45.1	48.2
臓器製剤	2,442	1,632	810	49.6	1.5	0.9
乳幼児用剤	172	244	-72	-29.4	0.1	0.1
その他の滋養強壯薬	62,467	67,080	-4,613	-6.9	38.0	36.9

(15) 呼吸器官用薬

呼吸器官用薬の生産金額は1,587億円で医薬品総生産金額の2.4%を占め、前年に比較して15億円(1.0%)の減少となっている。

内訳は第19表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、気管支拡張剤で31.3%を占めており、去たん剤28.9%、鎮咳去たん剤13.0%、呼吸促進剤12.1%という順になっている。

第19表 呼吸器官用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	15年	14年	増減額	比	15年	14年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	158,671	160,197	-1,526	-1.0	100.0	100.0
呼吸促進剤	19,187	21,356	-2,169	-10.2	12.1	13.3
鎮咳剤	9,126	9,753	-627	-6.4	5.8	6.1
去たん剤	45,935	38,223	7,711	20.2	28.9	23.9
鎮咳去たん剤	20,592	21,677	-1,086	-5.0	13.0	13.5
気管支拡張剤	49,605	57,923	-8,318	-14.4	31.3	36.2
含嗽剤	13,867	10,846	3,020	27.8	8.7	6.8
その他の呼吸器官用薬	360	418	-58	-13.9	0.2	0.3